



Title	利用者ファイル・システム開設について
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1973, 10, p. 83-88
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65194
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

利用者ファイル・システム開設について

48年度8月より、利用者プログラムを計算機センターに預け入れる事を可能にするための利用者ファイル・システムが開設されます。このファイル・システムはソース・データ・ファイルとマスター・ジョブ・ファイルの2つから成っています。

前者は、ソース・プログラム及びソース・データの預け入れ機能を主目的とし、追加・修正を容易におこなえる点を特長とします。後者は実行形式のプログラムの預け入れを主目的とし、追加・修正はできませんが、コンパイルーション及びリンクの手間を省略できる点が特長です。このような利用者ファイル・システムの開設により、次のような利点があります。

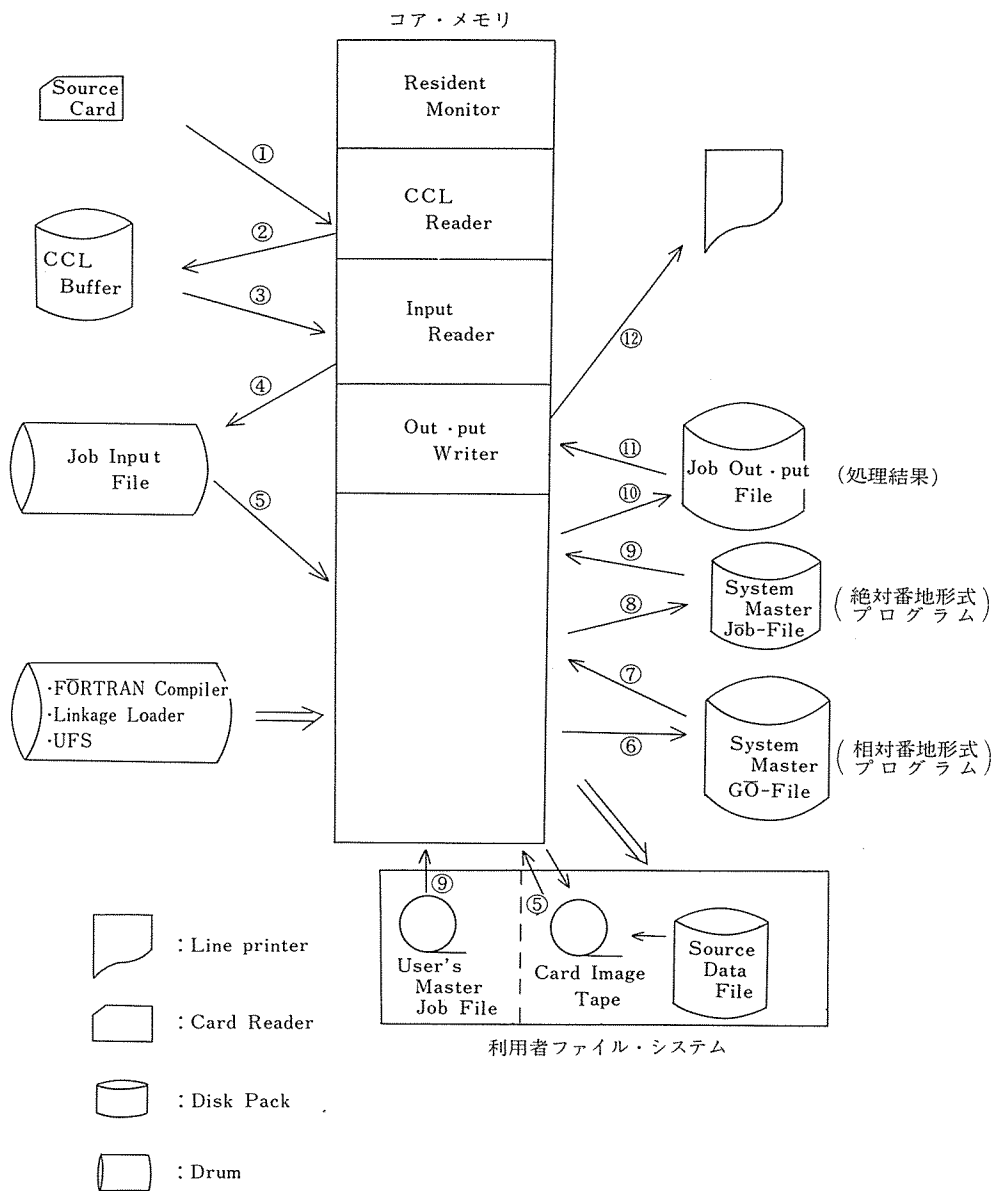
- (1) 利用者側及び計算機センター側における計算依頼時、受付・仕訳時のカード運搬力を軽減できる。
- (2) カードによる入出力の量を減す事により、オペレーターの手間を軽減し、しかもカード・リード・エラー等の危険性もなくする事ができる。
- (3) ファイル機能を十分に活用する事により、預け入れたプログラム又はデータの利用及び修正を容易におこなえる。
(ソース・データ・ファイル)
- (4) コンパイルーション及びリンクの手間を省くことができる。
(マスター・ジョブ・ファイル)

図1は、バッチ・システム及びその中における利用者ファイル・システムの位置を説明するための参考図です。矢印は通常のバッチ処理におけるJobの流れを示したものです。また①②③……等の数字は時間経過を示すものです。利用者ファイル・システムは図の下方に位置しております。利用者ファイル・システムを使用する際のシステム・コントロール・カードは通常のバッチ処理の場合と同じく①→⑤と流れます。そして次の段階で利用者ファイル・システムを制御する事になります。利用者ファイル・システムにおける利用者マスタージョブ・ファイルはバッチ処理におけるシステムマスター・ジョブ・ファイルに対応します。また、ソース・データ・ファイルはジョブ・インプット・ファイルに対応します。したがってバッチ・システムの中での利用者ファイル・システムの位置を知る事により、それらのもつ特質を理解できます。

利用者ファイル・システムのもつ特質（長所・短所共に含めて）を充分理解されましたうえで利用者各位の有効な利用をお願い致します。

利用者ファイル開設にあたっては、表1に示した「利用者ファイル開設申請書」（計算機センターに準備してあります）に必要事項を記入の上、当計算機センター共同利用掛へ提出して

下さい。なお運用の都合上、「申請書記入の際の注意事項」に示されたいいくつかの制限事項・規則がありますので予め注意しておいて下さい。またファイル・システムの運用は表2に示した範囲でおこないますのでファイルの開設及び利用にあたっては誤解のないよう、お願い致します。



CCL : Catalogue Control Language

UFS : Source Data File Control Program

図 1

表 1

ユーザーファイル開設承認申請書記入方法について

1. 所属部局所在地
申請者の所属する学部又は研究所の所在地を記入して下さい
2. 所属部局名
申請者の所属する部局を記入して下さい
3. 電話
申請者の連絡先を必ず記入して下さい
4. 課題番号
課題番号は現在使用しているものを記入して下さい
5. 登録ファイル名
10字以内の英数字の名前です。この名前は使用者を区別するものですから任意の名前をおつけ下さい
6. ファイル形式(1)UFMJB の場合
実行可能なプログラムはUFMJB の欄にチェックをして下さい。この場合外部記憶媒体を登録しますので、ソースプログラムを御持参下さい
7. ファイル形式(2)UF の場合
1 UOD がカード80枚に相当します。必要な UOD 数をお書き下さい。ただし、ファイルの容量が少ない時は UOD 数が減る可能性があります。
8. 開設期間
希望する開設期間をお書き下さい。ただし、年度をまたがることは許されない。
9. 有効期間
4 月 1 日～9 月 30 日：第 1 期、10 月 1 日～3 月 31 日：第 2 期とし、有効期間を越えて利用する場合は、期間の切れる 1 カ月前に再申請を提出して下さい。
10. 申請が認められた場合には、センター側で利用者番号、登録ファイル名、有効期間を記入のうえ、お返しします。

ユーザーファイル開設承認申請書

昭和 年 月 日

大阪大学大型計算機センター長 殿

貴学の計算機システムの利用について「大阪大学大型計算機センター利用規程」に準じてファイルを開設したいので、下記のとおり承認申請をします。

(申請者記入)

記

[illegible]

ファイル	新規・継続 などの区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 追 加		
	フ ァ イ ル	<input type="checkbox"/> ユーザーファイル	使用予定 UOD数	U O D
	形 式	<input type="checkbox"/> U F M J B	メ モ リ サ イ ズ	K C H
	開 設 期 間	昭和 年 月 日 ～ 昭和 年 月 日		
	理 由			

上記の申請を承認します。

(センター記入)

利 用 者 番 号							
登録ファイル名							
有 効 期 間	昭和 年 月 日まで						

昭和 年 月 日

大阪大学大型計算機センター長

表 2

	ソース・データ・ファイル	マスター・ジョブ・ファイル
全体の大きさ	7500U [○] D (カード・イメージ60万枚相当)	磁気テープ1巻 (2400フィート)
*開設者への 登 録 制 限	1人当り 75U [○] Dまで (カード・イメージ6000枚相当) グループ登録 250U [○] Dまで (カード・イメージ20000枚相当)	特に制限なし
ファイル 有効期間	第1期 4月1日～9月30日 第2期 10月1日～3月31日 (2期以上にまたがってファイルを開設する場合は各期ごとに登録申請を しなければならない。但し48年度に限り8月1日～49年3月31日までと する。)	
障害時の ための 保護体制	**毎週1回ファイルの全内容の複製を をつくる。 以後1週間以内に万一障害が発生し た場合、この複製で置き換える。	特に保護体制はとらない。障害の生じた プログラムは再登録する。

* この制 限の範囲を超えるものについては、別々に詳細な理由を書き添えたうえで申請して下さい。
 運用室会議で検討の後、開設許可の是非を決定します。

** 実際に複製をつくる作業をおこなう曜日については決り次第お知らせいたします。

集団ディスク搬入にともなう作業で機盤等が以下の様になりましたので、変更部分をお知らせします。

(旧)	(新)
LIB, <u>N0</u> , FIL=ZZRELPUBLIC, PMT	LIB, <u>L0</u> , FIL=ZZRELPUBLIC, PMT
MR7, <u>N0</u> , FIL=DIRBINNNU	MR7, <u>L1</u> , FIL=DIRBINNNU
MW1, <u>N1</u> , FIL=*USERFILE*, PMT	MW1, <u>L2, L3</u> , FIL=*USERFILE*, PMT
<u>LIB</u> , D0, FIL=ZZREL0CATS, PMT	<u>MLB</u> , D0, FIL=ZZREL0CATS, PMT
<u>MLB</u> , <u>N0</u> , FIL=ZZRELPUBLIC, PMT	<u>LIB</u> , <u>L0</u> , FIL=ZZRELPUBLIC, PMT

N-700 ジョブコントロールカードの手引き (48年4月)

正 誤 表

p3	7 桁目	TPA7	→	L1, FIL=DIRBINNNU
"	18 "	MJB, M	→	MJB,, 07, M

お知らせ：速報No.16 (1973. 3. 5) の変更事項中第2項の「連絡所から直接センターへ申請すること。」を「連絡所から直接センターへ申請することができる。」に修正します。